シーラカンス限定メニュー登場

アクアマリンふくしま

生息地インドネシアからナシゴレン

各種グッズ取りそろえ パンケーキ、定番甘味も

シーラカンスの故郷をモチーフとしたナシゴレン

期間限定のシーラカンスパンケーキ㊤、定番のごんべ焼き

ふくしま海洋科学館「アクアマリンふくしま」では、来年1月12日まで開催中の冬休みイベント「ハッピーホリデー！冬は楽（たの）しシーラカンス」に合わせ、同館1階・レストランアクアクロスで限定メニューを展開している。

冬休みイベントとのコラボとして、シーラカンスの生息地・インドネシアの料理から「ナシゴレン」が登場。甘辛くてスパイシーなコクのあるエスニック風チャーハンで、目玉焼きとエビせんべいがトッピングされている。数量限定。価格は1300円（税込み）。

さらに「期間限定！美味（お）しシーラカンスパンケーキ」は、ふわふわのスフレパンケーキに、シーラカンスの焼き印を押した冬季限定スイーツ。パンケーキのまわりはブルーシュガーとロックチョコでデコレーションし、生クリームは深海のチムニーをイメージした。価格は700円（同）。

また通年販売の定番スイーツにもシーラカンスは欠かせない。「ごんべ焼き」（小倉あん・クリーム・チョコレート）は、アフリカでのシーラカンスの呼び名「ゴンベッサ」に由来した甘味で、同館オリジナル商品として定番となっている。価格は各450円（同）。

入館口隣にあるスーベニアショップ・Ｕｍｉｎｏｓａｔｏ（ウミノサト）では、アイス最中「ごんべあいす」（うみのしお・チョコ）を取り扱っている。価格は各300円（同）。

同館ではグッズでも、シーラカンスに力を入れている。Ｕｍｉｎｏｓａｔｏでは、シーラカンスを模した同館公式キャラクター「権兵衛」をあしらった商品をはじめ、ぬいぐるみやお菓子、リュック、キーホルダーなどを取りそろえている。

シーラカンスは4億年前と変わらぬ姿をとどめており、「生きた化石」と称されており、同館は世界で初めてシーラカンスの幼魚の撮影に成功するなど、研究・調査の分野で顕著な功績を挙げている。

浪江産ニンニク贅沢使用

27日にマルト「特製肉餃子」販売

いわき市や茨城県でスーパーマーケットを展開する「マルト」（本社・勿来町窪田、安島浩代表取締役社長）は27日、双葉郡浪江町特産のニンニク「サムライガーリック」を贅沢（ぜいたく）に使用し、1日限定で特製肉餃子（キョーザ）「サムライ餃子」を販売する。

サムライガーリックは、東京電力福島第一原発事故を乗り越え、地元で営農再開にこぎ着けた「ランドビルドファーム」が手がけたにんにくで、国の重要無形民俗文化財・相馬野馬追に参加する騎馬の堆肥で育てている。

特製肉餃子「サムライ餃子」のイメージ

大粒で香りが高い点が特徴で、マルトの惣菜（そうざい）チームが試行錯誤を重ねた餃子は、野菜・豚肉・麹味噌いずれも国産原料にこだわり、肉の旨味との黄金比を実現した。価格は584円（税込み）。四倉、SC草野、SC平尼子店で取り扱う。

いわき・ら・ら・ミュウ

三が日は新春イベント開催

3日は「だるま市」初開催

hiroba ひろば

道の駅「いわき・ら・ら・ミュウ」では正月三が日、恒例となった新春イベントを繰り広げる。元日午前9時半からと同11時からの2度、「いわき鼓童会」が恒例の和太鼓演奏を披露。午後2時からは、1階南側休憩所で先着300人に白玉入りのぜんざいを振る舞う。2日は午前11時半から……新春イベントの開催を知らせるチラシ

と午後1時半からの2度、同休憩所で小名浜にスタジオを置く「ハーラウ ラウラーナニ」によるフラ・タヒティアンダンスショーを開催。館内各店で買い物をし、条件をクリアするとお年玉として、500円分のお買物券をプレゼントする。

3日は「お正月だるま市」と題し、大正時代創業の「高橋工房」（平正月町）による、達磨大師の緋衣（ひえ）を連想させる深い赤、いわきの海を表現した顔の周りの群青色の縁取り、おなかに書かれた〝福〟の文字が特徴の伝統工芸品「いわきダルマ」を販売する。同工房は子鍬倉神社（平字揚土）、諏訪神社（小名浜）、金刀比羅神社（常磐関船町）などで開催されている「だるま市」に店を出しており、同道の駅では初開催。開催時間は午前10時～午後4時。また同日も、館内各店で買い物をし、条件をクリアすると京都の伝統的な和菓子「うば玉（烏羽玉）」（みよし製造）をプレゼントする。

このほか、道の駅として9月にリニューアルオープンしたことを記念し、3、4日は館内での3千円の買い物のレシートを1階インフォメーションコーナーに提示すると、「道の駅記念きっぷ」（限定300個、先着順・1人1個）をプレゼントする。

◇

海鮮市場通りと海鮮グルメ通りは元日は午前6時半にオープン（一部店舗を除く）。飲食とレストラン、みゅうみゅうは午前10時のオープンとなる（閉店時間は店舗により異なる）。休館日は1月14、15日。詳しい問い合わせは、同センターのホームページ＝https://www.laiamew.jp/＝または＝電話（92）3701＝まで。

ハワイアンズ「共同宣言」へ

富士急ハイランド よみうりランドと 来月10日、ショーも

スパリゾートハワイアンズは来年1月10日午前11時半から、レジャー施設の富士急ハイランド（山梨県富士吉田市）と、よみうりランド（東京都稲城市）とのセレモニーとして「共同宣言」に臨む。

ハワイアンズは1966（昭和41）年1月、富士急ハイランドは64年7月、よみうりランドは同年3月にオープンし、ともに同時期から日本のレジャー業界を支えてきた。ほぼ同じタイミングで60周年を迎えるため、今年3月から共同企画「NEXT60共同宣言」を展開しており、記念イベントやキャンペーンのコラボを行ってきた。

よみうりランド×富士急ハイランド×スパリゾートハワイアンズ「NEXT60共同宣言」のイメージ

その最終章として、ハワイアンズに3施設のキャラクターが一堂に会して、フラガールも交えて共同宣言を宣誓し、各施設のユニフォーム交換を実施した後、この日限りの特別ショーを開催する。

会場のビーチシアターには、ハワイアンズのオリジナルキャラクター「CoCoネェさん」に加え、富士急ハイランドのやる気がない公式ヒーロー「絶叫戦隊ハイランダー」、よみうりランドのマスコットキャラクター「グッド&ラッキー」も駆け付ける。

「NEXT60共同宣言2025」記念コラボレーション企画として、3施設で使える共通チケットを抽選で限定販売。価格は1組2枚・1万2千円。詳しくは富士急ハイランド公式サイト＝https://www.fujiq.jp/＝まで。

また来年1月10日限定で、ハワイアンズに来場した2千人に向け、コラボを記念したステッカーを進呈する。